

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-6_林業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06044_01	市民の森整備事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06104_01	東予流域林業活性化推進事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06195_01	森林環境保全整備事業補助金
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06268_01	森林経営管理事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06041_01	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_01	林道保土野線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_04	林道豊後線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06242_01	林道維持管理事業補助金
3-06-02	林業生産基盤の整備	06255_01	別子山地区森林整備事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06270_01	林道施設長寿命化事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06271_01	別子木材センター活性化事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06044_01		
事業名(行目名称)		市民の森整備事業	細事業名	市民の森整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117439		
	手段(どうやって)	老朽化した園内設備等の、修繕や更新を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した設備を利用可能な状態にし、利用者の増加及び満足度を向上させるとともに、施設の有効利用、適正な管理を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		882	4,706	4,706		○需用費 900千円 ○工事請負費 3,806千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	3,806	3,806			
	一般財源	882	900	900			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
市民の森利用者		目標値	8500	8500	9000	9000	9000
		実績	12225	11543	4276	9293	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
来園者の安全性を確保するために、園内にガードパイプを設置した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
園内に設置している遊具等の設備に老朽化が目立ち、利用者に安全に使用していただくためにも、順次計画的に更新を実施していきたい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
森林との触れ合いと、森林への学びの場を提供し、利用者が安全に、快適に利用できるよう適正な管理をすることができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06104_01		
事業名(行目名称)		東予流域林業活性化推進費	細事業名	東予流域林業活性化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	東予流域林業活性化センターの活動経費の負担。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	東予流域内の林業活性化の基本方針を検討するとともに、流域内の具体的な取り組みを総合的、計画的に推進することにより、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化、産地形成等を図る。各種研修を通じて森林組合の職員のスキルアップをすることで、施業区域の拡大を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,740	1,740	1,740		○負担金補助及び交付金 1,740千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,740	1,740	1,740			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
林業活性化対策事業数		目標値	5	4	5	5	5
		実績	4	4	4	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
東予流域内の林業活性化に向けて事業を実施しているが、施業地域の確保に苦慮している。引き続き県及び、東予3市及び2森林組合等と連絡を密にしながら、施業確保に努めていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
東予流域林業活性化センターについて、翌年度も引き続き東予3市による広域的な事業を展開するため、現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林業の担い手確保や作業道補修に関する事業については一定の効果が認められ、東予3市と森林組合が協働して推進していくことが必要である。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06195_01		
事業名(行目名称)		森林環境保全整備事業費	細事業名	森林環境保全整備事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	森林組合が国県の補助を受けて実施する間伐、下刈等の造林補助事業に対して上乗せ補助を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の森林整備を適正に実施することにより、将来の木材生産における優良材を育てるとともに、国土の保全・水源かん養・自然環境の保全・地球温暖化防止等の公益的機能の高度発揮を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 3,504千円	
経費		2,080	3,504	3,504			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		700	700			
	その他	0	2,804	2,804			
	一般財源	2,080	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
森林整備面積(搬出間伐等) ha		目標値	40	40	40	40	40
		実績	28.94	18.04	5	20.27	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要であるため、森林整備を行ういしづち森林組合に対して継続して補助を行う。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続した森林整備が必要である。また、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても、搬出間伐等の森林整備は必要である。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06268_01		
事業名(行目名称)		森林経営管理事業費	細事業名	森林経営管理事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	民有林のうち人口林	数値	約600ha			
	手段(どうやって)	市内の森林所有者に対して意向調査を実施し、市に森林の管理を委託希望する場合は、市と森林所有者が協定を締結し、市が間伐等を実施していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	放置され荒廃した民有林を市が整備することで、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,922	10,702	10,702	○需用費 10千円 ○役務費 20千円 ○委託料 10,669千円 ○使用料及び賃借料 3千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			0
	地方債		0	0			
	その他	2,922	10,702	10,702			
	一般財源	0	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
現地調査面積(ha)		目標値	8	8	8	6	5
		実績	7.89	10.64	5	4.35	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
森林所有者による管理が行き届いていない森林が多くあるが、未国調森林が大半のため、森林整備を推進していくことが困難なケースが数多くある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
国から令和15年頃までに、意向調査を完了させ、森林整備を推進するように指導されているため、今後も計画的に事業を推進していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
現地調査結果をもとに、森林所有者と市とで森林の管理方法について検討し、今後の管理計画を記した「経営管理権集積計画」を定めることができた。また市の管理山林の一部について切捨て間伐を実施し、適切な森林整備を実施することができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06041_01		
事業名(行目名称)		森林居住環境整備事業	細事業名	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員)		数値	2,824人		
	手段(どうやって)	県営林道整備事業に対して、事業費の10%を負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本基幹道は、新居浜・西条市の山間部に散在する集落及び林道・林業団地・森林景勝地等を選び林業労働力を有効に活用しつつ、広域化・組織化による生産性の向上と森林レクリエーションの機能発揮を図るほか地域の振興を図る。また、森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全のため、利用区域内の森林の健全な森林整備を積極的に行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		20,700	21,000	21,000	15,292	○負担金補助及び交付金 21,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	13,800	13,500	13,500	8,300		
	その他	6,000	6,000	6,000	0		
	一般財源	900	1,500	1,500	6,992		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
林道利用区域森林整備面積(ha)		目標値	7	7	3	7	7
		実績	1.8	4.625	1	24.729 24.729	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在3工区(小味地西、小味地東、角野)について、開設事業実施中である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全に寄与する公益的機能を十分発揮させ、また災害防止の観点からも、県の森林基幹道開設に対する負担金支出及び条件整備等について、継続実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林道の開設が予定通り進み、林道沿線の森林整備に寄与することができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06183_01		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道保土野線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長		数値	4,000m		
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路等の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	12,000	12,000		○委託料 1,000千円 ○工事請負費 11,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		12,000	12,000			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
開設延長(m)		目標値	100	0	0	83	100
		実績	83.1	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
回転場の設置にあたり、地権者との協議に日数を用いているが、計画どおり開設を行う。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
森林資源の適正な管理、活用を促進するために、予算を拡大して林道整備を推進する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
開設工事が令和6年度に繰り越しとなったが、繰り越し工事を早期に完了し、引き続き計画どおり事業を推進する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06183_04		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道豊後線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長	数値	2,500m			
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路網の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。 令和5年度から令和7年度の期間は、供用区間において、台風等の大雨時に路面が洗掘され通行不能となることから、林道開設を中断し路面の改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網の整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路網の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,154	5,000	5,000	0	○委託料 5,000千円	
財源	県・国支出金	0	2,500	2,500	0		
	地方債	5,100	2,500	2,500			
	その他	0	0	0			
一般財源		54	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
路面改良進捗率(%)		目標値			14.3	14.3	77.1
		実績			13.8	14.3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
来年度からの路面改良工事の実施に向け、測量設計業務を実施中である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
大雨時に発生する路面洗掘及び土砂流出を防止するために、来年度は予算を拡大して路面改良を推進する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
路面改良工事の詳細設計が、計画通り完了した。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06242_01			
事業名(行目名称)		林道維持管理事業費	細事業名	林道維持管理事業補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者及び地域住民(延べ人数)		数値	69588			
	手段(どうやって)	森林組合が、市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理事業に対し、補助を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	森林組合が管理する林道のうち、市民の利用が多く生活道的な林道の維持管理を行い、林道使用車両及び市民の通行等の安全を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,312千円		
経費		1,312	1,312	1,312				
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	1,312	1,312	1,312				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
補助対象路線利用区域森林整備面積			目標値	40	40	40	40	40
			実績	16.2	7.81	2	24.68	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
補助金対象の11路線について、順次作業を実施している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
森林組合管理林道のうち市民の利用が多く生活道的な側面を持つ林道において、森林整備の推進のみならず、林業用車両、一般車両、地域住民の通行の安全を確保する必要があるため、今後においても補助規模・要件等について事業実施主体と協議・検討しながら事業を実施する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理においては、実施できた。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06255_01			
事業名(行目名称)		別子山地区森林整備事業	細事業名	別子山地区森林整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区市有林・銅山川北側面積(ha)		数値	1000			
	手段(どうやって)	接道状況のない銅山川北側の市有林について、隣接する住友林業社有林内の私設林道から新規の森林作業道を連結、延長し3年度間で市有林内へ到達させる。市有林到達後の4年度目からは、森林作業道開設と並行して市有林内の搬出間伐に着手する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養、土砂流失防備等の森林機能発揮を図り、森林所有者の責務を果たす。また、搬出材の有効活用(地域内木材加工センターへ搬入)により雇用の創出、地域活性化に繋げる。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○役務費 1,985千円 ○委託料 49,293千円 ○負担金補助及び交付金 1,245千円		
経費		51,650	52,523	52,523				
財源	県・国支出金	0	7,109	7,109	0			
	地方債	13,200	8,500	8,500				
	その他	22,502	36,914	36,914				
	一般財源	15,948	0	0				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
森林作業道の改良・新規開設延長(m)			目標値	980	1000	600	600	600
			実績	933	1050	600	600	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
基幹道となる森林作業道は今年度開設計画の延長600mが予定どおり完了しており、現在は搬出間伐に取り掛かっている。現地作業は年内の完了を見込んでおり、搬出されるヒノキ間伐材の一部は別子木材センターへ搬入し、主に住宅用建築資材(集成材)として活用予定。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
台風等の自然災害も発生せず、基幹道の開設は順調に進んでいる。また、開設した基幹道を活用した搬出間伐も令和4年度から取り組んでおり、間伐材の一部は別子木材センターで有効活用がなされており、翌年度以降も計画的に本事業を推進する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度は、市有林内からの搬出間伐を実施し、計画どおりに森林作業道の新規開設を実施した。(市有林内600m)								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06270_01		
事業名(行目名称)		林道施設長寿命化事業	細事業名	林道施設長寿命化事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市管理の林道橋	数値	橋梁数N=6橋			
	手段(どうやって)	令和2年度に策定した新居浜市林道施設長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、定期的な点検・診断及び補修・更新を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	予防保全型維持管理の考え方を導入し、必要な補修や機能強化を行うことで本市林道橋の健全度Ⅱ以上の状態を確保して、通行の安全と施設の延命化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,388	8,000	8,000			
財源	県・国支出金	0	4,400	4,400	0		
	地方債		3,600	3,600			
	その他	3,388	0	0			
	一般財源	0	0	0			
○工事請負費 8,000千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
健全度Ⅱ以上の林道橋数		目標値	5	5	5	6	6
		実績	5	5	5	6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
計画どおり林道豊後線の橋梁補修工事を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
来年度は長寿命化計画に基づく定期点検を予定しており、施設を適正に管理し延命化を図るため、計画どおり実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林道豊後線の橋梁補修を計画通り実施し、林道橋6橋共に健全度Ⅱ以上を確保することができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06271_01		
事業名(行目名称)		別子木材センター活性化事業	細事業名	別子木材センター活性化事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	有限会社別子木材センター		数値	R4.4.1地域住民数 129名		
	手段(どうやって)	別子木材センターの老朽化した機械設備(テーブル、カットソー、集塵設備、パチカルサンダー、フィンガージョインター)を更新する。建屋部分については、屋根修繕により雨漏り解消、水銀灯(2021末で製造、輸入等禁止)照明→LED照明へ更新する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生産効率と品質の向上により、より多くの集材材が製造可能となる。営業活動の強化とコスト削減等と同時に取り組む事により、早期の経営安定化に繋げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 25,630千円	
経費		34,650	25,630	25,630			
財源	県・国支出金	15,750	0	0	0		
	地方債	18,900	25,600	25,600			
	その他	0	30	30			
	一般財源	0	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
建屋修繕(1)、機械設備(5台)更新		目標値		6	1	1	0
		実績		3	3	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
世界的な半導体不足等の事情により、機械設備の一部が5年度へ繰越となったが、9月末現在で予定していた機械設備の更新は完了した。屋根修繕の残り半分も9月に入札が完了しており、年内での工事完了予定となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
機械設備、建屋修繕関連のハード部分については5年度ですべて完了するため、今後は木材センターが行う営業(既存顧客からの受注増、新規顧客獲得等)を側面から支援していく事とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討			
機械設備の更新、建屋修繕が完了したことにより、生産性・品質の向上が期待できる。今後も既存顧客からの受注増、新規顧客獲得に向けた営業活動を積極的に支援し、早期の経営安定化を図る。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				